

皆さん、こんにちは。楽しいな夏休み  
まであと少し！

県立文化施設では、夏休み限定イベ  
ントや楽しい展示が盛りだくさんです。  
涼しい館内で夏休みの思い出を作り  
に来てみませんか？もしかしたら夏休  
みの宿題のヒントがあるかも！

## 夏休みスタンプラリーが

はじまります！

7月13日(土)から9月1日(日)  
までの間、県立美術館・博物館・考古  
博物館・文学館・山梨近代人物館・山梨  
ジュエリーミュージアム・図書館・科学  
館・富士山世界遺産センターの9館で、  
幼児から高校生を対象に、夏休みスタ  
ンプラリーを開催します。

学校で配られる「スタンプブック」  
を持ってスタンプを集めると、ゴール  
のスタンプが押された館でプレゼント  
がもらえます。

また、スタンプラリーを達成した皆  
さんは、豪華な景品があたる抽選に応  
募することができます。

6つの館のスタンプを集めて、すて  
きなプレゼントをゲットしよう！



## 県立美術館

### 「黄昏の絵画たち」 近代絵画に描かれた夕日・夕景」

皆さんは、「黄昏」という言葉を知っ  
ていますか？この言葉は、太陽が西の  
空に沈んだ後に、空がほんのりと赤く  
色づく時間帯を意味します。やがて夜  
を迎え、あたりがすっかりと暗くなっ  
てしまうまでの間、空の色だけではな  
く、目の前に広がる景色の見え方も徐  
々に変化していきます。

「黄昏の絵画たち」展は、夕方の光  
と影、そして色彩に着目して絵画を描  
いた画家たちの作品が展示されるもの  
です。400年ほど前にイタリアで  
描かれた油彩画から、日本の江戸時代  
の浮世絵まで、夕方を表現した幅広い  
作品が集合します。

7月28日(日)には、テレビでもお  
なじみの気象予報士が、お天気の専門  
家の目線で、展覧会の作品を楽しく解  
説するイベントを開催します。また、  
8月9日(金)には、科学館とのコラ  
ボイベントを開催。ペットボトルで夕  
日を再現する実験を行い、夕方の空が  
なぜ赤いのか、その秘密に迫ります。  
夏休みの自由研究のきっかけになる  
かもしれません。

開催期間は6月22日(土)から8月  
25日(日)まで。



カミーユ・ピサロ 《ルーアンの波止場・夕陽》  
1896年 ヤマザキマザック美術館

## 県立図書館 第6回 贈りたい本大賞

県立図書館「贈りたい本大賞」大切  
な人に贈りたい1冊」作品募集  
皆さんが、大切な人に本を贈るなら、  
どの本を、どのような理由で選ぶでし  
ようか。

県立図書館では、大切な人に贈りた  
い本と、150字以内の推薦文(その本  
を選んだ理由、贈りたい理由)を募集し  
ます。応募の中から大賞作品を5点選  
び、大賞受賞者に賞状と図書カー  
ド1万円分をお贈りします。

応募期間 6.27(木) ~ 9.13(日)

6回 贈りたい本大賞

本賞には、賞状・図書カード(1万円)を贈呈

山梨県立図書館 総務課 企画係  
〒400-0004 山梨県山梨市南町2番11  
TEL 055-253-1040 FAX 055-253-1042  
E-mail: kankou@libnet.yamanashi.jp  
URL: https://www.libnet.yamanashi.jp/

募集期間は、6月27日(木)から9  
月13日(金)です。県立図書館などに  
ある応募用紙に記入し、郵送、FAX、  
メール、県立図書館へ持参のいずれか  
によりお送りください。応募用紙は、  
県立図書館のホームページからもダウ  
ンロードできます。お問い合わせは、  
055・2555・1040まで。

## 県立博物館 「す」すぎるーね」展 「人とネコの出会いと 共存の歴史」

かつて、ネコはエサとなるネズミを  
求めてヒトに近づき、ヒトはネコを身  
近に住ませることで食料や経典  
カイコの守り役を得ました。ヒトはネ  
コの姿かたちを魅了され、時に神秘的  
な性質をおそれ、さまざまな芸術作品  
や信仰を生み出しました。長い年月の  
果てに、現代社会におけるネコは伴侶  
動物と呼ばれる一方、社会問題も引き  
起こす存在となつていきます。

山梨県立博物館 山梨県立美術館 山梨県立歴史民俗資料館

「す」すぎる! ね」展

~人とネコの出会いと共存の歴史~

2019年7月13日(土)~9月2日(日)

写真展「必死すぎるネコ」の撮影家・沖昌之氏作品も特別展示

この展覧会では、写真集「必死すぎ  
るネコ」の猫写真家・沖昌之氏の作品や、

出土品・工芸品・神札・絵画などの資料、  
貴重なネコ科動物の剥製・化石などを  
展示し、ネコの野生の側面をご紹介す  
るとともに、ヒトとネコの共存の歴史  
をたどりまます。

開催期間は7月13日(土)~9月2  
日(月)まで。

## 県立考古博物館 「山梨でつくった古墳ができたわけ」 「上の平遺跡発掘40周年」

『古墳』は古代の有力者たちのお墓  
です。お墓と言っても現在のものとは  
大きさや形がまったく異なり、円の  
形をした『円墳』や、鍵穴のような形  
をした『前方後円墳』など、スケール  
の大きな古墳も少なくありません。

実はわたしたちの住む山梨県でも、  
今からおよそ1700年前には、東日  
本で最大級といわれる甲斐・鉾子塚古  
墳をはじめ、大きくて立派な古墳がた  
くさん造られていました。

一方で、これほどの古墳群が築かれ  
たにしては、山梨は山々に囲まれすぎ  
ていて土地の利用がしにくく、巨大な  
古墳を造るのに適しているとは言いが  
たい地域でもありません。

そこで今回の企画展では、このよう  
に山深い山梨で、なぜこれほど大きく、  
数多くの古墳が築かれたのかを探って  
いきたいと思ひます。

特に、今年は曾根丘陵公園内にあ  
る上の平遺跡が初めて発掘されてか  
ら40周年を迎える記念の年というこ

ともあり、125基もの周溝墓（周りに溝があるお墓）が密集しているこの遺跡と、その周りに点在している巨大な古墳との関係にも注目します。

古代の山梨に生きた人々がどうしてこれほど「でっかい古墳」を造ったのか、一緒に考えてみましょう。開催期間は7月13日（土）～8月25日（日）まで。



前方後円墳を造る様子  
(イメージ)

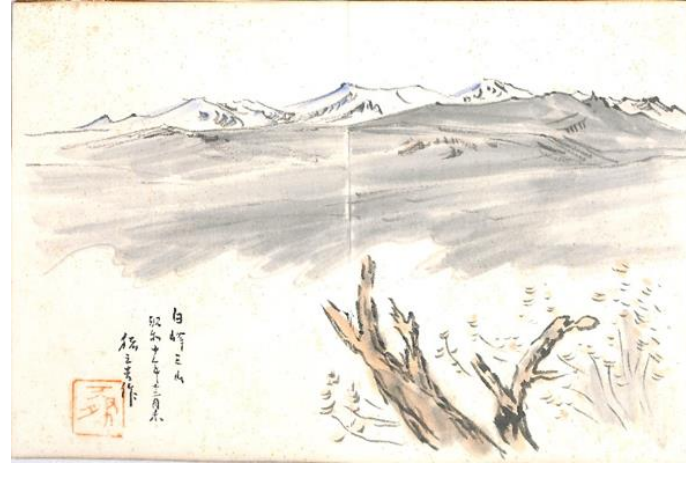
**県立文学館**  
開館30周年記念 特設展  
「山と水の文学」

文学館は今年、開館30周年を迎えます。これを記念し、ふるさと山梨に暮らすわたしたちにとって身近な存在である「山と水」をテーマにした展覧会を開催します。

人は、四季折々に見せる「山と水」の美しさだけでなく、災害をもたらす「山と水」の厳しきなど、さまざまなものと向き合う中で、自然の奥深さにふれてきました。この夏の展覧会では、「山と水」との関わりから生み出されてきた詩歌や小説、随筆、紀行文など

を取り上げ、その魅力を紹介します。開催期間は、7月13日（土）から、8月25日（日）までです。

また、関連ワークショップとして、7月27日（土）に「山と水からいたたく色」を開催します。これは、やまなしの自然（草木）と水をつかって、和紙葉書をそめるワークショップです。自分自身が染めた美しい葉書で、素敵な夏のお便りを出してみませんか。詳しくは、学校に配られたチラシや文学館のホームページを見るか、文学館に直接問い合わせるか、いずれかで確認してください。



山梨のやま 画帖「甲斐のやま山」  
1935年12月末 序文 小島鳥水

**県立科学館**  
令和元年度夏期特別企画展  
「いきものハンター」

無人島の生態系を調査せよ！

令和元年度夏、県立科学館は、「いきもの」をテーマに、未開拓の無人島に生息する巨大生物や危険生物にスポットを当て、生物の不思議に迫ります。精巧なロボット展示のほか、映像アト

ラクシヨンにもチャレンジしながら、無人島の生態系を学びましょう。ジャングルの奥地へと進み、さまざまな展示を存分に楽しんでください。



開催期間は、7月20日（土）から8月25日（日）までです。多目的ホールにて毎日開催しますので、多くの方のご来館をお待ちしています。

また関連イベントとして、7月23日（火）は、爬虫類・恐竜研究家の富田京一先生によるスペシャルトークショー「ドクタートミーのびつくり仰天!! 爬虫類ワールド」(要予約)、7月27日（土）は、「ミニミニ爬虫類動物園」(当日自由参加)をメインイベントで開催します。詳しくは県立科学館ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。電話は055・254・8151

**山梨近代人物館**

山梨近代人物館では、山梨にゆかりのある人物や県政のあゆみを紹介しています。夏休みには、みなさんが楽しめるイベントが盛りだくさんです。

①「いのちの積み木」  
いのちの積み木を通して、ご先祖様を思い出し、命の大切さや家族のストーリーを親子で考えてみませんか。日時：7月21日（日）午前10時30分～12時

対象：親子（小学生から高校生までの親子）  
定員：15組（要予約）

②「人物から学ぶやまなしの歴史探訪ツアー」  
バスに乗って南部地域にある人物資料館やゆかりの地に行きます。みんな一緒に楽しく歴史を学びましょう。日時：7月28日（日）午前9時～午後4時45分

参加費：500円  
定員：20名（要予約）

③「古写真からみる近代甲府」  
山梨県立博物館所蔵の貴重な古写真を手がかりに、郷土の人物たちの活躍の舞台となった近代甲府を探検します。懐かしい甲府の姿を眺めながら、ひとりのタイムスリップをお楽しみください。

日時：8月18日（日）午後1時30分～3時  
定員：50名（要予約）

④人物館オリジナル思いでブックとぬり絵で楽しむ人物館！  
7月13日（土）から8月31日（土）までの期間中、思いでブック作りとぬり絵が楽しめます。



り絵が楽しめます。人物の紹介も分かりやすく書いてありますので、ぜひチャレンジしてみてくださいね。開催時間 午前9時～午後5時まで 休館日 第2、第4火曜日

先生方へ「博学連携のお知らせ」  
美術館、博物館、考古博物館、埋蔵文化財センター、文学館、科学館、

美術館、博物館、考古博物館（埋蔵文化財センター）、文学館、科学館では、教育プログラムの開設や出前授業、貸出教材など各館の特色を生かした教育普及事業を実施しています。詳細は各館担当者までお気軽にお問い合わせ下さい。

- 〈問い合わせ先〉
- 県立美術館 学芸課 電話 055・228・3258
  - 県立博物館 企画交流課 電話 055・261・2631
  - 県立考古博物館 学芸課 電話 055・266・3881
  - 埋蔵文化財センター 電話 055・266・3016
  - 県立文学館 学芸課 電話 055・235・8080
  - 県立科学館 電話 055・254・8151

美術館、博物館、考古博物館、文学館では、小・中・高・特別支援学校の児童と生徒は、常設展・特別（企画）展を無料で観覧できます。なお、近代人物館はどなたでも無料で観覧できます。